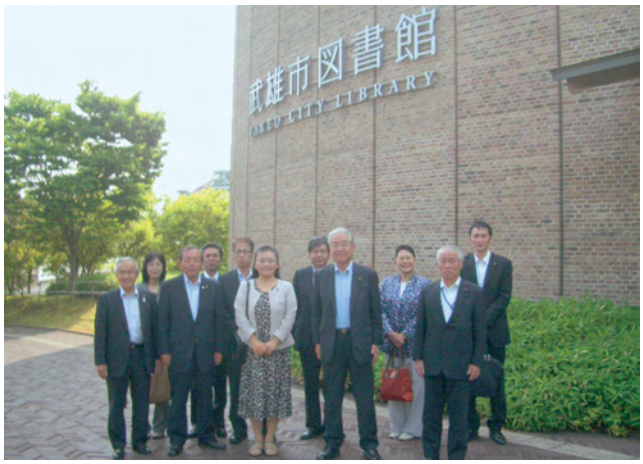
なめりかわ
市議会だより
No.175
平成26年８月１日発行
滑川市議会
☎(076) 475−2111
E-mail:gikai@city.namerikawa.lg.jp

土石流被災家屋保存公園　ー長崎県島原市ー

大野木場砂防みらい館　ー長崎県島原市ー
（島原半島ジオパークについて）



武雄市図書館　ー佐賀県武雄市ー
（図書館の指定管理者導入について）

総務文教委員会行政視察

平成26年５月19日～21日

平成26年６月定例会一覧

開会　６月５日
閉会　６月19日　会期15日間

○本会議（主な内容）
- ５日　会期の決定
- 提案理由説明
- 補足説明
- 11日　代表質問・一般質問
- 12日　一般質問
- 議案の委員会付託
- 19日　委員長報告・質疑・討論・採決
- 議員提出議案
- 提案理由説明・質疑・討論・採決
- 議員派遣
- 閉会中の継続審査

○委員会
- ５・12・19日　議会運営委員会
- 13日　総務文教委員会
- 16日　民生環境委員会
- 17日　産業建設委員会

○議案の審議結果

予算（原案可決）	１件
条例（原案可決）	13件
その他（原案可決）	３件
その他（原案承認）	１件
議員提出（原案可決）	２件
合計	20件

議会を傍聴しませんか。次回の定例会は９月です。

◆6月定例会
平成26年度一般会計補正予算（5億5,379万円）外市長提出15議案を可決
◆7月18日に第2回市議会臨時会を開催

寺家小学校管理棟改築（建築主体・解体等）工事請負契約の締結（契約金額1億8,813万6千円）、災害対応特殊化学消防ポンプ自動車（Ⅱ型）の取得（取得価格5,454万円）

6月定例会

市議会6月定例会は、6月5日から19日までの15日間の会期で開催されました。

審議した案件は、平成26年度一般会計補正予算をはじめ、条例等の市長提出議案16件、議員提出議案2件、議員派遣及び閉会中の継続審査の合計20件です。

審議の結果、市長提出議案の16件は原案どおり可決または承認されました。また、議員提出議案の2件、議員派遣及び閉会中の継続審査につきましても原案どおり可決されました。

本会議

◇6月5日に本会議を開き、まず会期を19日までの15日間と決めた後に、平成26年度一般会計補正予算をはじめとした予算及び条例等の市長提出議案16件が一括上程され、市長から提案理由の説明がありました。

一旦、本会議を閉じ、全体委員会を開いて担当部課長などから議案の補足説明がありました。

◇11日、12日は代表質問及び一般質問が行われ、14名の議員が市政一般に対する質問及び提出案件に対する質疑を行いました。

質疑終了後に市長提出議案を所管の各常任委員会へ付託しました。

◇最終日の19日には本会議を再開し、総務文教・民生環境・産業建設の各常任委員長から、それぞれの付託議案の審査結果の報告がありました。

次に、議案第33号及び議案第34号に対する反対討論が1名の議員からありました。

分離採決の結果、議案第33号、議案第34号については、各常任委員長の報告のとおり賛成多数で可決され、その他の14議案は一括して採決され、各常任委員長の報告のとおり、賛成全員で可決、承認されました。

続いて議員提出議案2件の提案理由説明の後、採決を行い可決されました。

引き続き、農業委員会委員に浦田竹昭氏を指名推薦し、最後に議員派遣及び閉会中の継続審査を議決して、6月定例会を閉会といたしました。

第2回臨時会

平成26年第2回市議会臨時会は、会期を7月18日の1日間と決めた後に、「工事請負契約の締結について」及び「動産の取得について」の市長提出議案2件が一括上程され、市長から提案理由の説明がありました。

次に、市長提出議案を所管の総務文教委員会へ付託しました。

その後、本会議を再開し、総務文教委員長から付託議案の審査結果の報告があり、採決の結果、委員長の報告のとおり、賛成全員で可決され、第2回臨時会を閉会といたしました。

永年勤続議員表彰

第90回全国市議会議長会が去る5月28日、日比谷公会堂で開催され、永年勤続議員（20年）として、森結前議員、野末利夫前議員が表彰されました。

日誌

26年5月

9日　議会運営委員会協議会
　　定例議員協議会
　　公共施設のあり方検討特別委員会協議会

15日　富山地区広域圏事務組合議員協議会、臨時議会（立山町）

17日　東京滑川会総会（東京都）

19～21日 総務文教委員会
22日 行政視察（長崎・佐賀県）
県日台友好議員連盟
理事会、総会、講演会
（富山市）
27日 北陸新幹線建設促進大会、
同盟会総会（東京都）
県選出国会議員との懇談会
（東京都）
28日 全国市議会議長会第90回
定期総会（東京都）
富山高山連絡道路（国道41号）整備促進期成同盟会、
富山外郭環状道路整備促進期成同盟会合同総会
（富山市）
29日 議会運営委員会
30日 全国市議会議長会
天皇陛下拝謁（東京都）

6月

2日 県東部消防組合議会
全員協議会（魚津市）
県東部消防組合議会
臨時会（魚津市）
定例議員協議会
5～19日 6月定例会
19日 議会報編集委員会
30日 富山県市議会議長会市議会
議員研修会（富山市）

7月

1～3日 民生環境委員会行政視察
（愛知・三重・福井県）
1日 県日韓友好議員連盟
総会、講演会（富山市）
福岡県太宰府市より
行政視察
2日 福島県相馬市より行政視察
9日 沖田川治水対策促進期成
同盟会総会
地震・津波対策勉強会
議会運営委員会
産業建設委員会協議会
10日 定例議員協議会
議会報編集委員会

12日 関西滑川会総会（大阪府）
14日 全国市議会議長会
社会文教委員会（東京都）
朝日滑川間国道・バイパス
建設促進期成同盟会
通常総会（魚津市）
東部山麓道路建設促進
期成同盟会総会（魚津市）
15～17日 産業建設委員会
行政視察（宮城・山形県）
16日 神奈川県綾瀬市より
行政視察
三重県いなべ市より
行政視察
18日 全員協議会
第2回臨時会
議会報編集委員会
公共施設のあり方検討
特別委員会協議会
23日 愛知県春日井市より
行政視察
25日 日中友好富山県地方議員連盟
理事会、総会、講演会
（富山市）

代表一般質問

6月定例会では14名の議員が質問を行い、54項目について市当局の見解を求めました。

質問と答弁の主な内容は次のとおりです。

（すべての質問等詳細を記録した会議録は、9月中旬頃までに、市立図書館に配付する予定ですのでご利用ください。また、滑川市ホームページの市政情報には、議会会議録検索システムが搭載されておりますので、ご利用ください。）

※質問者の最後のQは、掲載外の質問事項です。

代表質問

1 安全・安心なまちづくりについて
2 滑川市指定文化財「門松」の保護について
3 滑川市消防について
4 伊東教育長就任にあたって抱負と滑川市教育方針を問う

（会派＝会派自民） **中川 勲 議員**

Q 沖田川放水路整備の完成が平成28年度とのことだが一日も早い完成に向け取り組んでほしい。

A 上田市長 3月中ごろ県庁土木部長、河川課長、魚津土木センター所長がお見えになり、平成28年の完成は、県としても予算づけの中では目いっぱいの努力だとのことである。今後はしっかりと工事が進捗するか総合的に見ていきたい。

Q 養鶏場建設問題の現状はどうなっているのか。

A 碓井産業民生部長 建設を計画している企業が昨年11月に県の農業技術課から鳥インフルエンザ対策である埋却地の確保についての図面提出を求められていると聞いているがその後、地元松倉地区、県、魚津市のいずれにも新たな動きがない。今後とも、排水、悪臭、粉じん、鳥インフルエンザ等から3万4千市民ときれいで安全な水道水源を守る立場から、県や魚津市と綿密に連携を図り情報収集に努め反対の姿勢を強く発信していく。

Q 高塚地内にある市指定文化財「門松」の保護を。

A 折田教育次長 4月29日滑川市造園組合による樹木医の診断を受け、樹木の生育環境の改善や松を枯れさせる害虫の予防等が必要と判明した。防虫作業は実施するが、樹木の生育環境については地元町内会と協議し積極的に保護、保存を図る。

Q 滑川市消防の状況と東部消防組合は当初の計画どおり進んでいるのか。

A 濱谷消防署長 計画どおり4月より指令センターの運用を開始し、指令の一元化により迅速な出動体制が確立され、初動体制及び二次出動の増隊体制が大きく向上。舟橋分遣所も完成し、10月から運用開始する。消防無線についても、本年度デジタル化へ移行、また住宅密集地火災に有効な15メートルのポンプつきはしご車を購入し滑川消防署に配備する予定。

Q 教育長就任にあたって抱負と教育方針を伺う。

A 伊東教育長 教育の役割は、子どもたちが家庭から社会へと自立するかけ橋となることと思う。子どもたちが文化の創造者であり、継承者となり立派に育つよう教育を推進するサポート役として尽力していく。

代表質問

1 北アルプス横断道路構想について
2 立山黒部ジオパーク構想について
3 みのわテニス村利活用計画について
4 安全・安心なまちづくり条例について

（会派＝自民クラブ）**浦田竹昭 議員**

Q 副市長就任の抱負と今後の市政に対する思いについて問う。

A 石川副市長 市長の補佐役として、職員とともに施策の推進に努め、議員の意見を受け止め、市民の声を聞き、市勢発展のために全力をあげて職務に取り組みたいと考えている。

Q 北アルプス横断道路構想について、重点事業要望として、県・国への対応と、上市町並びに早月川水系隣接市との連携を図る組織について問う。

A 小幡総務部長 新たな夢構想の実現を目指して、県内自治体の意志統一を図り、県や国に強く要望していきたい。上市剱ルートが最も期待の持てるルートとして、上市町と協力し、また魚津市との連携、同盟会組織についても、必要な時期をみて考えていきたい。

Q 立山黒部ジオパーク構想について、そのメリットと担当部課所の明確化、担当職員の配置、並びにジオサイトの発掘と庁内連携・地域連携について問う。

A 小幡総務部長 地域・大地の遺産を保全しつつ、学びと体験する場として、観光や地域の伝統・文化活動が一体となり地域振興に寄与するものであり、企画政策課を担当窓口とし、現在の学芸員が担当する。庁内連携では、情報の共有化を図り、市民が積極的に参加できるよう連携を図っていきたい。

Q みのわテニス村（ファミリーハウス・グリーンハウス）利活用計画について問う。

A 折田教育次長 計画については、内部での協議、指定管理者との協議を行っており、今後、東部山麓道路の進捗も踏まえながら、公共施設等総合計画策定委員会で検討していきたい。

Q 交通事故や刑法犯罪、消費生活苦情等のない、安全で安心なまちづくりを推進するための、具体的な施策を総合的に計画的に取り組む、安全・安心なまちづくり条例の策定について問う。

A 碓井産業民生部長 地域社会全体が一体となって、防犯活動や防止に取り組むものであり、条例の策定には他の市町村の動向や先進地の条例の内容や効果等、研究していきたい。

代表質問

1 学校の耐震改修について
2 並行在来線について

（会派＝日本共産党議員団）**古沢利之 議員**

Q 報道では、耐震性に問題ある小中学校が2棟あるとされた。

A 折田教育次長 今回報道された2棟は東部小学校の多目的ホールと寺家小学校の管理棟である。東部小学校の多目的ホールは改築工事中で8月完成予定、寺家小学校の管理棟は今年度中の完成を目指して改築の予定だ。

Q 対策が未実施のつり天井も2カ所とされた。以前の答弁では、天井材を含めた非構造部材の耐震性について、早急な対応は必要ないとしていた。

A 折田教育次長 昨年、文部科学省から落下防止対策が必要な天井としての基準が示された。滑川中学校と早月中学校の武道場が合致するが、その後滑川中学校の武道場はつり天井ではないとわかり、対策が必要なつり天井は1カ所である。以前はこの基準が示されておらず、大規模空間である体育館のみについて、つり天井なしとしていた。

Q 新幹線開業と同時に北陸線は県内で「あいの風とやま鉄道」になる。利便性の確保、向上のためにどう取り組んできたか。

A 小幡総務部長 並行在来線は住民の重要な足であり、安定的な運営が必要なことから、安全性の確保や経営安定基金への拠出、ダイヤ設定など国、県、関係機関に働きかけてきた。

Q 来年度の県への重点要望事項に、並行在来線と富山地鉄の相互乗り入れが入っているが、具体的な構想を描いているか。

A 小幡総務部長 富山地鉄の中滑川・新魚津間は北陸本線と並行しており、適地に渡り線を作れば乗り入れが可能となる。JRの車両は交流・直流両用なのでそのまま入れるが、地鉄の車両は直流のため工事が必要となる。

Q JR西日本は関西方面の特急は金沢どまりにするとしている。県東部の関西方面への利用者は、乗りかえが必要で、利便性が大きく損なわれる。

A 小幡総務部長 現在、泊・金沢間の快速列車は1往復だけとされている。2往復増便も検討中で、JR西日本も必要な協力を行うとされている。引き続き利便性の確保を要望していきたい。

その他の質問事項

Q子ども図書館について

代表質問

1 中滑川駅周辺の土地利用計画について
2 地域の安心・安全対策について
3 子どもの読書習慣定着化について

（会派＝市民クラブ） **水野達夫 議員**

Q 中滑川駅周辺の土地利用計画の方針はどうか。

A 上田市長 道路の問題、水（貯水池）の問題等、トータルとして全部解決すべきだと思っている。

A 砂田建設部長 地元のご意見も伺いながら、地域の魅力を生み出せるようにしていきたい。

Q 中滑川駅周辺を市で取得することでいいか。

A 上田市長 先ほどの構想は、取得したいということで申し上げた。

中滑川駅周辺現況（5月末撮影）

Q 災害時の広報活動の手段として、SNSを災害情報発信のツールの一つとして活用できないか。

A 小幡総務部長 市全体の行政情報の発信手段としての活用も含めて、先進都市等の事例も見ながら検討してまいりたい。

Q 子ども図書館の整備にあたり、2階フロアの安全・防寒対策は十分か。

A 折田教育次長 中央吹き抜け部分に、落下防止・防寒対策として、2階の天井まで透明なカーテンウオール等を設置する計画である。また、各フロアの柱には衝撃吸収マットを巻いたり、子どもたちが伸び伸びと絵本を選んだり遊具で遊ぶことができるよう安全対策に万全を講じていきたい。

Q 学校図書館司書の滑川市での配置状況についての見解はどうか。

A 伊東教育長 学校図書館の機能強化のため、書架、配架の工夫による親しみやすい図書館づくりや情報化の推進が望まれるところであり、その担い手として、いわゆる学校図書館司書、そして司書教諭の充実が望ましいと考えている。

Q 学校図書館司書について計画通り専任に向けて拡充する見通しはどうか。

A 折田教育次長 現在4人を配置し、3人は2校兼務、1人は3校兼務となっている。財政的な面もあり、一気には難しいと考えている。県内の状況を見ながら、増員について検討していきたい。

その他の質問事項
Q次期介護保険事業計画について

一般質問

1 高齢者介護について
2 滑川市のまちなか再生への取り組みについて
3 過疎集落等自立再生緊急対策事業について

角川真人 議員

Q 国会では要支援1・2の方の訪問・通所介護を保険給付から市町村事業へ移そうとしている。滑川市内の要支援者の数は要支援1が62人、要支援2が186人。この人数に対する財源は大丈夫なのか。

A 藤田福祉介護課長 従来どおり財源が確保されるよう、県や市長会等を通じて国に要望していく。

Q オレンジサロンで介護が必要な家族を持った方と交流してきた。これまでどんなことを行ってきたか、外に対して発信はあったのか。

A 藤田福祉介護課長 参加者から「介護の大変さを分かち合うことができ、気持ちが安らいだ」という声もあったことから、より多く参加してもらえるようチラシを全戸配布、医療機関の窓口においてもらうなど行う。

Q 私の住む中町周辺では店がほぼなくなってしまっている。まちなか再生事業はどうなっているか。

A 児島まちづくり課長 平成25年度末までのまちなか住宅家賃助成事業は46件、まちなか住宅取得支援事業は40件、危険老朽空き家対策事業は7件となっている。

Q 富山県で行われている事業に空き家・空き店舗を利用した日用雑貨などの生活の核となる店舗再生のものがある。

A 網谷商工水産課長 3月に第1期の募集が行われ、8月に第2期の募集がある。関係団体に周知していく。

Q 総務省のホームページで過疎集落等自立再生緊急対策事業として富山県朝日町での事業が紹介されている。地域資源を生かした観光や店舗が少ない地域への移動販売、バスでの買い物ツアーがある。検討してはどうか。

A 熊本企画政策課長 朝日町の事業については過疎集落等を対象に地域経済の活性化・日常生活機能の確保に取り組んでいる。本市としても必要に応じて参考としていく。

Q 滑川市での過疎化の現状はどうか。

A 熊本企画政策課長 市の人口は平成16年をピークに減り続けている。特に東加積・中加積・山加積地区が著しい。旧市街地においても減少している。

一般質問

1 子どもたちの学力向上について
2 市内スポーツ施設等の無料化について
3 第三子以降の保育料無料化について
4 子どもたちの通学路の安全対策について

竹原正人 議員

Q 教育長に新しく伊東教育長が就任した。教育長が描く義務教育課程における教育方針は。

A 伊東教育長 生涯にわたり学び続ける基盤をつくる時期であり、興味、関心を持ってワクワクして取り組む意欲を育てるとともに、失敗を恐れずチャレンジするたくましい精神と健康な身体をつくるよう、学校教育、社会教育、文化、スポーツの各方面で取り組みたい。

Q 全国学力テストの公開についてどうするのか。

A 坂口学務課長 学校の序列化や過度な競争に通じる恐れがあるため現時点では考えていない。

Q このことについて市長はどう思うか。

A 上田市長 教育は社会全体で子どもたちを育んでいく、守っていくが基本であるので公表していくべき。

Q 市内スポーツ施設等の無料化について利用率が高まるのを期待するが、競技力の向上にどうつなげるのか。

A 上田スポーツ課長 各施設を積極的に活用いただき、今後とも競技力のさらなる向上を目指し、スポーツ少年団及び中学校部活動のサポートに一層力を入れていきたい。

Q 第三子以降の保育料の無料化について、市長の提案理由説明には、「将来人口の確保につなげるため」と明記してあるが本当にそうなのか。

A 砂田子ども課長 これからの高齢化社会を担う若年世代、特に子育て世帯の経済的負担を軽減するため4月にさかのぼって第三子以降の保育料を無料化することにより、子どもを生み育てやすい環境を整えることは若年世代にとって魅力ある施策だ。こうした施策を通して人口減少に歯どめをかけ将来人口の確保につながるものと考える。

Q 子どもたちの通学路の安全対策の取り組みは。

A 岩城建設課長 子どもたちの安心・安全を確保するため、歩道の設置や道路の拡幅、通学路の点検により指摘された箇所については整備を進めている。市内の老朽化した歩道についても年次的に整備を進めることとしている。

一般質問

1 人口減少社会への対応について
2 サンコーポラス上小泉について

谷川伸治 議員

Q 滑川市の過去10年間の出生数の推移と今後の見通しについてどう考えているか。

A 砂田子ども課長 平成16年の出生数は320人、平成23年に減少し239人、平成25年は260人であった。5年後の平成31年のゼロ歳児の推計人口は243人と思われる。

Q 今後20歳から39歳の女性の人口が減少して、人口減少に伴う財政状況の予想についてどう考えているか。

A 杉田財政課長 女性人口の減少は、出生率が上がっても全体の出生数が減り、生産年齢人口の減少は住民税・地方交付税の減少になり財政状況に影響を与える。

Q 人口減少を最少にとどめるための対策として、第3子以降の保育料無料化の他、婚活支援を実施する考えはないか。

A 熊本企画政策課長 過去には民間が婚活パーティーを開催した実績はあるが今後、婚活事業の民間活動への支援を検討したい。

Q 定住者、雇用を増やすための企業誘致についての考えは。

A 網谷商工水産課長 現時点で企業進出に係る問い合わせはない。引き続き企業誘致のための工業団地候補地の選定作業を進めていく。若者の定住者を増やすため、「ものづくりのまち滑川」をPRして雇用の拡大・定住促進につなげたい。

Q 市営駅前住宅からサンコーポラス上小泉への転居をどのような計画で進めていくのか。

A 児島まちづくり課長 サンコーポラス上小泉の2号棟・3号棟の入居者に1号棟・4号棟へ移転していただき、空室の修繕を終える。駅前住宅からの移転は夏以降本格的に開始し来年3月末までに移転をお願いしている。

Q 市営駅前住宅からサンコーポラス上小泉に移転した場合交通手段の「のるmy car」は入居者を考慮したダイヤ改正になっているか。

A 下野生活環境課長 サンコーポラス上小泉の方が利用できるバス停は、サンコーポラス上小泉前と泉ヶ丘の2カ所あり、小森ルートと大日ルートが利用でき、泉ヶ丘では新たに蓑輪ルートも利用できるよう改正した。

一般質問

1 財務諸表から見える課題について
2 市民会館大ホールについて
3 少子化対策としての婚活について
4 市職員の採用計画について

尾崎照雄 議員

Q 資産老朽化比率と推移についてどのように認識しているか。

A 杉田財政課長 上がり下がりがあることは好ましくないことなので、平均的な数字が40％から50％台になるように公共資産の更新等に努めていくのがベストだと思う。

Q 職員が財務諸表から課題を読み取る力をつけるために職員教育にどのように取り組んでいくのか、課題を市民に分かりやすく伝える方策は考えているか。

A 杉田財政課長 財政課が中心となって、財政状況に関する研修とか教育もぜひ進めていきたい。財務諸表についても市民に一目瞭然でわかるような何か家計に例えたようなものも考えていく必要があると思う。

Q 市民会館大ホールの控室を改善する計画、予定はないのか。

A 杉田財政課長 市長からも何か考えろという指示を受けている。今後どのような改善がいいのか検討したうえで改善をしていきたい。

Q 滑川市文化会館建設基金設置条例が制定され、現在7億円まで積み立てられているが、建設に向けて具体的な行動を起こす時期に来ていると思うが。

A 杉田財政課長 平成15年度から7年にわたって積まなかった時期があり、これを積んでおれば10億円ぐらいになっているのかもしれない。今の段階ではもうしばらくためなければならないと思う。できるだけ近い将来に建設ができるよう、毎年積み増しを行ってまいりたい。

Q 類似団体の中で本市は職員1人当たりの人口が全国一多い。職員数が少ないがゆえに、事務の停滞につながっているのではないか。

A 岡本総務課長 民生部門については公立保育所の数が少ないという特徴があるので少ない。衛生部門は、ごみ収集、運搬処理について民営化をしており、数字が低くなっている。消防も抜けている。教育についても、市立の幼稚園がないので少なくなっている。ほかの部分については他の類団とほぼ同数となっており、その部門では適正と思う。

一般質問

1 市民交流プラザの今後について
2 博物館の収蔵品について
3 歳入について

中島 勲 議員

Q 市民交流プラザは市街地のにぎわいを創出するため実施されたまちづくり交付金事業の根幹をなすものであり、福祉の拠点として7年間にわたり役割を果たしてきたが、どのように評価しているか。

A 砂田建設部長 市民交流プラザは「市民の健康及び福祉の増進並びに地域の活性化を目指した交流人口の増大を図る」目的で設置した。あいらぶ湯の利用者は6年10カ月で100万人を達成し多目的ホール、会議室、軽運動室も約30万人に利用されている。また、展望台や休憩室、作品展示などにも多くの方が訪れており、市街地の活性化に寄与していると考えている。

Q 建物全体を誰がどのような形で運営していくのか。

A 砂田建設部長 建物全体の所管は財政課であり運営は指定管理者制度に基づき文化・スポーツ振興財団であるが、2階の子ども図書館部分については教育委員会で行う。

Q 博物館収蔵品の保存状況、それの利活用はどうなっているのか。

A 上坂生涯学習課長 昭和54年の開館以来、歴史資料や民族資料、美術品、研究資料等2万2千点余りの資料を収蔵する中で、一部常設展示ほかは館内に保管している。利活用については、常設・企画展、ロビー展示等で一部を展示しており、昨年からは、出前講座として小学校等の要望に応じ学芸員が出向いて解説したり、収蔵庫の見学をしてもらうなど展示以外にも活用の機会を広げている。

Q 個人市民税、国民健康保険税で毎年多額の不納欠損処理がされているが現状と対策はどうか。

A 嶋川税務課長 25年度は204件、175人、3千180万円で前年度から若干減っている。

Q 固定資産税の免税の件数は。

A 嶋川税務課長 26年度分では1千910人、土地所有者1万2千982人の約14・7％の方が免税点以下である。

Q 不能欠損はやむを得ないのか。

A 嶋川税務課長 預貯金等を差し押さえ不能欠損にならないよう努力している。

一般質問

滑川市の土地利用について

青山幸生 議員

Q 今年度策定予定の滑川市都市計画マスタープランについてコンセプトはあるか。

A 児島まちづくり課長 現在、部内で検討している段階であるため、今後の社会情勢に対応したマスタープランを策定したい。

Q 今年度基本構想を策定するという話だが遅いと思うがどうか。

A 児島まちづくり課長 今年の段階としては、都市づくりの課題の整理から始め都市計画の方針まで、3月までやりたい。

Q 前回策定時とは違い、人口減少をマスタープランに反映させなければいけないが対策はどうか。

A 児島まちづくり課長 ご指摘のとおり、人口減少の状況を踏まえて対応を考えていきたい。

Q 滑川市が考えるメインストリートはどこなのか。

A 児島まちづくり課長 色々な意見があると思うが市としては、メインストリートを特に定めてはいないが、滑川駅周辺、中滑川駅周辺、上小泉地域（明文堂周辺）がメインストリートと考えている。

Q 全国従来型の固定資産税の減免ではなく、見せる工場を建設した企業に補助をする。企業立地重点促進区域に新たな取り組みを考えてみてはどうか。

A 網谷商工水産課長 「ものづくりのまち滑川」ということで、企業立地重点促進区域について、企業が土地の有効活用を図るための環境施設面積及び緑地面積の緩和措置等支援している。企業誘致のための用地確保に努める中でも、今後、土地の効果的な活用を考えていきたい。

Q 市街地の延焼火災について本市のまちなかは道路が狭くなっているがどう考えているか。

A 濱谷消防署長 ご指摘のように市内の密集地においては、狭い道路も大変多く存在する。消防の防御活動上においては、道路が大変有効。一定の道路幅が有効に設定されるよう、都市計画で考えていただきたい。

工場見学群のイメージ図（見本）

一般質問

1住居表示について　2中小河川の管理について　3有害鳥獣対策について　4堀江運動公園について　5有料公共施設の利用について　6みんなで作る協働のまち推進事業について

髙橋久光 議員

Q 郵便番号がない自治会が滑川市にあるのではないかと思うが伺う。

A 濱松市民課長 昭和53年住居表示審議会条例及び住居表示実施基準を制定し実施地域及び整備事業計画を決定した。郵便番号は当時あった町内会をもとに郵便番号が設定され、その後新たな郵便番号は設定されておらず、現時点では難しい。

Q 市内にある中小河川の管理を徹底すべき。堤防などは害虫のすみかで、中州は梅雨期に雨が降り続くと災害に、毎年計画を立て行っているか伺う。

A 岩城建設課長 市内の中小河川の管理は、土地改良区・市・県がそれぞれパトロールを実施し、必要に応じ草刈りや流水阻害している土砂の撤去を行っている。県が管理している河川については中州等の土砂の撤去や雑木伐採等について毎年要望し状況を見ながら実施していただいている。

A 上田市長 過去の上市川の決壊について立山土木に要望・指摘し、ここ4年はほとんど県庁河川課に直接要望している。今の土砂の状態から災害が出ないと判断している。

Q 毎年出没する有害鳥獣対策で、今日までの成果と課題について伺う。

A 臍亀農林課長 猿の対策は捕獲隊が着用しているものと色・形が同じベストを配布し農作業時に着用してもらっている。生態は市のホームページで掲載。隊員増を図り免許取得費用の助成、新たに猿、イノシシ捕獲手当の予算化をしている。

Q 堀江運動公園に調査費が計上されているが、具体的な目的は何か。

A 長井公園緑地課長 新たな公園計画に係る委託料で中加積地区の下水道事業で発生した土砂の有効利用と既設の日本庭園と一体とした整備を行う。

Q 有料公共施設を一人でも多く利用してもらえる施設として検討すべき。

A 杉田財政課長 施設のPR、接遇、サービスの向上について今後総合的に検討していきたい。

Q 協働のまち推進事業予算枠が消化されているか。

A 熊本企画政策課長 23、24年度は大体予算どおり交付されたが25年度は180万円弱となっている。今後もっと使っていただけるよう検討したい。

一般質問

1 立山黒部ジオパーク構想の積極的な活用を！
2 地震災害に対する認識を問う
3 西加積地域における交番設置に関する市の見解を問う

高木悦子 議員

Q 総合学習やふるさと教育にジオパークの発想を取り込めないか。

A 上坂生涯学習課長 市内文化財見学事業のような取り組みにジオサイトの見学や野外学習等を取り入れ、進めていきたい。

Q ほたるいかミュージアムに博物館の機能を持たせて、もっと市民の皆さんに親しんでもらえる施設に転換できないか。

A 網谷商工水産課長 今後、地質、地形、歴史などの発想を含め、ジオツアーに組み入れることを視野に入れながら地域活性化等に努めていきたい。

Q 呉羽山断層帯を震源とする地震が発生した場合の市内の被害状況は？

A 岡本総務課長 震度5弱から6強の揺れの想定で建物の全壊279棟、半壊7千191棟、死者13人、負傷者675人とされている。

Q 津波による想定被害は、どう分析されているか。

A 岡本総務課長 防潮堤が機能した場合、木造の全壊が34棟、半壊が17棟、死者7人と想定される。

Q 地震が発生した場合、津波被害よりも地震の揺れによる被害の方が圧倒的に多い。耐震化率が目標の85％になれば人的被害は半分以下にできる予測もある。津波対策班の前に耐震化推進班をつくるべきではないか。

A 岡本総務課長 耐震化の担当はまちづくり課で津波対策班にいる。総合的に耐震も津波も連携して、進めていきたい。

Q 滑川市のハザードマップとは別に富山県からもう1つのパターンの浸水予想図が出ているが、どのようなものか。

A 岡本総務課長 すみません。存じません。

Q 職員の思い込みや認識不足ということが、市民の皆さんを不安に陥れていないか。

A 岡本総務課長 そういう面もあるかもしれない。

Q 自民党の政務調査会で、西加積地区の交番設置の要望を何年も聞いている。滑川市の見解は？

A 下野生活環境課長 県警本部で交番設置の必要性はないと判断しており、市としてその判断に従うのが適当と考えている。

Q 相模原市では「民間交番」を設置している。市として「民間交番」設置の考えはないか。

A 下野生活環境課長 今後、研究していきたい。

一般質問

1 子育て政策について
2 滑川市重点要望について
3 安全対策について
4 運動公園について
5 行革のなかで

開田晃江 議員

Q 学童保育を6年生まで延長してはどうか。

A 砂田子ども課長 児童福祉法が改正され、来年4月からは6年生までが対象となっている。今後利用があるか実態を調査し、環境を整備していく。

Q 平成27年度からの子ども・子育て新制度に向けて、市内の保育所（園）・幼稚園のニーズ調査はいつ行う予定か。

A 砂田子ども課長 新制度への移行に関する意識調査は7月11日を期限に実施する予定。

Q 新制度に向け、子育て会議が関与することが多いがどんなことがあるか。

A 砂田子ども課長 支援法の第77条で定めており施策の総合的かつ計画的な推進に関し必要な事項や実施状況を審議する。

Q 県道滑川上市線で通学路である有金から堀江交観橋までの区間の要望をどのように考えているか。

A 岩城建設課長 必要性は十分認識している。引き続き県に対し要望していく。

Q 産婦人科医師の確保対策の推進に、厚生連滑川病院に現在4千万円の補助を1億円にして財源の約束をしてはどうか。

A 上田市長 そのまちに産婦人科の先生がいるかいないかで将来人口に結びつく課題である。検討に値すると思っている。

Q 中央道のアンダークロスに水深15センチメートルとかの冠水表示を。

A 岩城建設課長 県も重要な路線に路面表示をしており、市道滑川中央線も重要な路線であり、設置について検討していく。

冠水表示の県道での一例

Q 運動公園について、紫外線対策やPM2・5対策のため屋内公園等を考えられないか。

A 上田市長 屋内施設は今回の市長選で子どもからの要望もあるが、児童館の建設も絡んでくるので総合的に検討する。

Q 嘱託職員として採用され何年もして、スキルを高めている人に専門職として新規採用のチャンスを、即戦力。

A 岡本総務課長 現在、考えていないが、スキルがアップした嘱託職員は待遇の面で考慮してもいいかなと思っている。

一般質問

1 学校給食について
2 健康、体力づくりの向上対策について
3 健康診査について
4 農業の振興について

原　明　議員

Q 学校給食の完全米飯給食の実施について当局の見解は。

A 坂口学務課長　本市の学校給食は、主食には米飯、パン、麺類を取り入れ実施しており、米飯については平成22年度から週3・5回、平成24年度から週4回とし、全て滑川産コシヒカリを使用しており、米飯給食については、日本の伝統的食生活である食習慣の形成や、地域の食文化を通した郷土への理解を深めるなど教育的意義があると認識している。保護者や関係者の意見を聞きながら、米飯とパンや麺のバランスを考慮し米飯給食を実施していきたいと考えている。

Q 学校給食について伊東教育長の思いは。

A 伊東教育長　私たち日本人の根幹的な食生活、食習慣、これらを支えてきた歴史をしっかりと子どもたちに伝える意味では文化の継承だが、給食や家庭での食育と同じ大事な働きを持っていると思っており、子どもたちの給食を大事にし、給食から始まって家庭教育に至るという、家庭教育の視点を持った給食を続けて行きたいと思っている。

Q 滑川市の小中学生の体力・運動能力測定の結果は。

A 上田スポーツ課長　平成23年度より市内全小中学校児童・生徒を対象に体力測定を実施しており、小学校では8種目、中学校では9種目を調査している。県の平成24年度の平均値で比べると、小学生では男子の1種目、中学生では男子で1種目、女子は3種目で平均を下回っているが、全体的に良好な結果であったと考えている。

Q 多面的機能支払制度に取り組んでいる34組織の内訳は。

A 膳亀農林課長　農地等の、のり面の草刈りや水路の泥上げなどの基礎的保全活動を行う農地維持支払と、施設の機能診断や植栽活動等の質的向上を図る資格向上支払があり、4月末までに要望をとりまとめたところであり、農地維持支払については13の組織が、資源向上支払については21の組織が取り組みを予定しているところである。

委員会

6月定例会の委員会の審査から

6月定例会の各委員会では、付託された議案について慎重に審査が行われました。主な項目等は次のとおりです。

■総務文教委員会

審査議案は9議案であり、議案はいずれも原案のとおり可決及び承認しました。

▼議案第25号　平成26年度滑川市一般会計補正予算（第1号）

◆議案第26号　滑川市民会館条例の一部を改正する条例の制定について

◆議案第30号　滑川市総合体育センター条例の一部を改正する条例の制定について

◆議案第31号　滑川市みのわテニス村設置条例の一部を改正する条例の制定について

◆議案第32号　滑川市体育施設条例の一部を改正する条例の制定について

◆議案第33号　滑川市税条例等の一部を改正する条例の制定について

◆議案第38号　滑川市立図書館条例の一部を改正する条例の制定について

◆議案第39号　工事変更請負契約の締結について

◆議案第40号　地方自治法第179条による専決処分の承認を求めることについて

■民生環境委員会

審査議案は4議案であり、議案はいずれも原案のとおり可決及び承認しました。

▼議案第25号　平成26年度滑川市一般会計補正予算（第1号）

◆議案第34号　滑川市重度心身障害者等医療費助成条例の一部を改正する条例の制定について

◆議案第35号　滑川市国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定について

◆議案第40号　地方自治法第179条による専決処分の承認を求めることについて

■産業建設委員会

審査議案は7議案であり、議案はいずれも原案のとおり可決及び承認しました。

▼議案第25号　平成26年度滑川市一般会計補正予算（第１号）

◆議案第27号　滑川市農村環境改善センター条例の一部を改正する条例の制定について

◆議案第28号　滑川市勤労身体障害者教養文化体育施設条例の一部を改正する条例の制定について

◆議案第29号　滑川市都市公園条例の一部を改正する条例の制定について

◆議案第36号　滑川市工業振興条例の一部を改正する条例の制定について

◆議案第37号　滑川市企業立地の促進等による地域における産業集積の形成及び活性化に関する法律第10条第１項の規定に基づく準則を定める条例の一部を改正する条例の制定について

◆議案第40号　地方自治法第179条による専決処分の承認を求めることについて

第２回臨時会の委員会の審査から

第２回臨時会の常任委員会では、付託された議案について慎重に審査が行われました。主な項目等は次のとおりです。

■総務文教委員会

審査議案は２議案であり、原案のとおり可決しました。

◆議案第41号　工事請負契約の締結について
寺家小学校管理棟改築（建築主体・解体等）工事

◆議案第42号　動産の取得について
災害対応特殊化学消防ポンプ自動車（Ⅱ型）

総務文教委員会 行政視察（５月19～21日）

◆長崎県島原市（島原半島ジオパークについて）

◎島原半島ジオパークは、雲仙火山を中心とした島原半島（島原市、雲仙市、南島原市）全体で構成された自然公園で、平成20年12月に日本ジオパーク、平成21年８月には世界ジオパークネットワーク加盟が認定された。現在はボランティアガイドの育成や地域の学校の学習に取り入れている。

◆佐賀県武雄市（フェイスブックを活用した情報発信について）

◎平成23年８月に市のホームページをフェイスブックへ移行した。フェイスブックを活用することにより、災害発生時の警報や通行止めの場所を地図で示すなど即時に情報発信ができることや地域住民だけでなく、市外へのＰＲにも貢献している。

◆佐賀県武雄市（図書館の指定管理者導入について）

◎武雄市では、蔦屋書店を経営している企業に運営を委託した図書館を平成25年４月にオープンした。館内は20万冊の書籍や雑誌の販売・カフェの導入などにより、市外からも利用者が増加した。そのため、土日の駐車場不足が課題となっている。

キラリンのひとくちメモ

第３回は、誌面の都合上、お休みいたします。

議会放送と録画放送等のご案内

Net3

市議会定例会の本会議の様子は、ケーブルテレビ121チャンネル（アナログは８チャンネル）で、生放送及び録画放送を実施しております。

次回の市議会定例会の本会議の放送は、９月に予定しておりますので、是非、ご視聴ください。

なお、定例会の日程及び放送時間等については、市広報（９月号）・ケーブルテレビ等を通じてご案内します。

議会報編集委員会から

「市議会だより」について、皆さんのご意見をお寄せください。

市議会の本会議は、ケーブルテレビで放送しておりますが、議場で直接、傍聴してみませんか。

詳しくは、事務局までご連絡ください。

電話４７５―２１１１（内線３７１）

議会報編集委員

高橋久光委員長　谷川伸治副委員長
角川真人委員　竹原正人委員
尾崎照雄委員　中島　勲委員

６月定例会での①議員提出議案、②意見書提出要請、③要望書について

件名及び提出者　　処理結果

① 議員提出議案（２件）

１ 議員提出議案第２号　ウイルス性肝炎患者に対する医療費助成の拡充を求める意見書
……本会議結果＝可決
滑川市議会議員　中　川　　勲　　外５名

２ 議員提出議案第３号　憲法改正の早期実現を求める意見書
……本会議結果＝可決
滑川市議会議員　髙　橋　久　光　　外９名

② 意見書提出要請（２件）

１ ウイルス性肝炎患者に対する医療費助成の拡充を求める意見書 ……議会運営委員会一致
自由民主党滑川市連合支部支部長　髙橋久光　（議員提出議案第２号へ）

２ 憲法改正の早期実現を求める意見書 ……議会運営委員会不一致
自由民主党滑川市連合支部支部長　髙橋久光　（議員提出議案第３号へ）

③ 要望書（２件）

１ 地方自治体における政党機関紙「しんぶん赤旗」の勧誘・配布・販売について自治体独自での実態調査及び是正を求める陳情 ……全議員へ参考配付
行橋市議会議員　小坪慎也

２ 要望書 ……全議員へ参考配付
滑川市音楽協会　会長　宝田英雄

６月定例会での本会議の結果について

議案内容等　　採決結果

◎議案第33号（分離採決）……原案可決（賛成多数）
滑川市税条例等の一部を改正する条例の制定について
賛成者＝青山・竹原・尾崎・谷川・水野・高木・原・中島・浦田・開田・中川・髙橋
反対者＝角川・古沢

◎議案第34号（分離採決）……原案可決（賛成多数）
滑川市重度心身障害者等医療費助成条例の一部を改正する条例の制定について
賛成者＝青山・竹原・尾崎・谷川・水野・高木・原・中島・浦田・開田・中川・髙橋
反対者＝角川・古沢

◎議案第25号～議案第32号、議案第35号～議案第40号
平成26年度滑川市一般会計補正予算（第１号）　外13件 ……原案可決・承認（賛成全員）

◎議員提出議案第２号 ……原案可決（賛成全員）
ウイルス性肝炎患者に対する医療費助成の拡充を求める意見書

◎議員提出議案第３号 ……原案可決（賛成多数）
憲法改正の早期実現を求める意見書
賛成者＝青山・竹原・谷川・高木・原・中島・浦田・開田・中川・髙橋
反対者＝角川・尾崎・水野・古沢

第２回臨時会での結果について

議案内容等　　採決結果

◎議案第41号～議案第42号 ……原案可決（賛成全員）
工事請負契約の締結について　外１件